



2007 年 12 月 1 日発行
発行人：村尾 憲一郎
発行所：〒650-0024 神戸市中央区
海岸通 8 神港ビルヂング 509
TEL：078-393-0050
FAX：078-393-0051
E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
URL：<http://www.kobekeio.org/>
編集：堀 友子

～～関西合同三田会開催～～

村尾 憲一郎 (昭 58 商)

好天ながら、近畿地方では木枯らし 1 号が吹いて思いのほか肌寒い 11 月 18 日 (日)、和歌山城址の目前に位置する真新しいダイワロイネットホテルにて、和歌山三田会実行委員会主催による関西合同三田会が賑々しく開催されました。今回は、慶應義塾創立 150 年の前年に当たるため、そのイベントとしても大事な会合となりました。神戸慶應倶楽部からは、当日登録 1 名を加えた 20 名の登録者が欠けることなく全員参加され、会の盛り上げに大いに貢献して頂きましたことをまずご報告いたします。



式典は、海瀬和歌山三田会会長、
銭高関西合同三田会会長のご挨拶
に始まり、服部連合三田会会長、
安西慶應義塾塾長、森慶應義塾常
任理事のご祝辞と続きました。
服部会長は、福澤先生の志と足跡
を辿る記念事業について触れら

れ、安西塾長は、アジアに存する大学の中で、150 年の歴史を刻むのは、慶應義塾のみであり、まさにアジアの近代化をリードしてきたのは、慶應義塾であると自負したい、また未来への先導者として、独立し、倫理感を備え、人の心が分かる世界に通用する人材 (リーダー) を育むための国際的にもトップクラスのアカデミアとして発展し続けることが、慶應義塾の使命であると力説されました。

さらに塾を支える強力な三田会は、公立・私立を問わず他大学の羨望的であり、昨今はその組織ノウハウを得ようと、さまざまな記念事業の現場に他大学の関係者が紛れ込むこともあるようだが、一朝一夕には真似できない現実を知って愕然として帰る

と囁かれると会場がどっと沸きました。森常任理事よりは、慶應社中の絶大なご尽力により、150 周年記念募金も順調に推移しているが、現在 190 億円を少し超えたところであり、目標の 250 億円に向けて、もう一押しご協力をお願いしたいと。神戸慶應倶楽部会員各位におかれましても、未来を担う後輩たちへの投資として相応しい募金活動の継続を今一度お願いいたします。

式典終了後、懇親会が始まりました。テーブルを埋め尽くした塾員で会場は熱気ムンムンです。ご当地名産の特大クエ (30kg) が登場し、料理人によって大まな板の上で手際よく捌かれ、刺身として振舞われました。工夫を凝らしたビュッフェ料理とともに、瞬く間に完食してしまったのは、言うまでもありません。アトラクションでは、塾長ならびに各三田会幹事長が登壇し、それぞれ打楽器を持たされて、バックバンドとミニ演奏会、和歌山三田会実行委員会からは、年齢不詳



ながら、いかにも芸達者というメンバーが、学ラン・ミニスカを着用して応援団とチアガール (イヤガール?) として登場、その先導

によって往時を偲びつつ、会場内は我が年齢も忘れて大合唱の渦。そして閉めは福引抽選会でさらにヒートアップ、当倶楽部上島顧問と中内副幹事長もすばらしい景品を寄贈され、当倶楽部の参加者にも多数豪華景品が当たって、大満足の 1 日となりました。和歌山三田会実行委員会の皆様、本当にお疲れ様でした。150 周年を迎える来年は、大阪慶應倶楽部主催です。 “See you next year in Osaka !”

連載

『塾野球史（昭和前半）をひもとく』

———兵庫県出身の選手を中心に———

市居 嘉雄（昭29経）

【第3回】 (文中敬称略)

◎昭和8年（1933）

<新入部員> ナシ

野球統制令施行の影響か、六大学当局は各校春1回宛、秋は2回宛の対戦で計15試合1年1シーズン制を実施した。慶應は7勝7敗1分で4位（立大優勝）。

10月22日に行われた慶早第3戦は8回まで8対7で早大リードの9回表、守備についた塾水原三塁手は、早大側スタンドから食べかけのリンゴが投げ込まれたのを拾って早大応援席へ投げ返したことから、興奮した早大応援団の一部が慶應応援団に押しかけ、塾長から贈られたばかりの指揮棒を奪い取る、いわゆる「リンゴ事件」に発展した。試合は慶應が9対8で勝ったが、早慶両校はもみにもんだ。結局早大野球部長辞任、水原選手謹慎、早大チームはそのシーズンの試合辞退で落着した。

◎昭和9年（1934） 主将：水谷則一

<新入部員> ナシ

前年に続いて1年シーズン制が採られた。なんと4月27日の開幕第1戦は慶早1回戦で、4対2で早大を降したものの、5勝10敗で5位に終わる（法大優勝）。

◎昭和10年（1935）腰本監督が辞任（5月に死去）

無監督年度となる。主将：土井寿蔵

<新入部員> 楠本保（明石中）、中田武雄（明石中）

春季から六大学連盟が文部省に申請していた通り2シーズン制が復活したが、慶應は1勝9敗で5位の成績（法大優勝）。

この年入部した楠本、中田の二人は中等野球時代から全国的に有名な存在であった。楠本は投手で4番打者、同じく中田は2番で左翼手（控え投手）として、昭和6年春の選抜から甲子園に登場し毎年のように春夏を通じて活躍した。



遠征中の楠本（左）と中田（右）

楠本は昭和8年の選抜準々決勝では京都商の沢村投手と投げ合って、楠本に軍配が上がっている。しかし、何と

いってもこの両名を有名にしたのは、同年夏の第19回大会準決勝「明石中—中京商」戦で、延長25回に及んだ激闘である。

その試合まで投手は主に楠本であったのが、対中京戦で登板したのは意外や中田であった。結局、延長25回4時間55分を投げ抜いた中田の力投空しく、内野守備の乱れでサヨナラ負けを喫した。

中田は明石中卒業後、1年先輩の楠本を慕って慶應に進学した。入塾後の二人の活躍は年度ごとに記述する。

秋季は5勝3敗2分で4位（早大優勝）。

◎昭和11年（1936） 監督：森田勇（～17年）

主将：勝川正義

<新入部員> 松森一郎（神戸三中）

春季は早大渡米中で5校で戦い、2勝5敗で4位（明大優勝）。慶應の誇る投手陣のうちエース楠本が肩を痛め、中田投手が連投となって打ち込まれた。

秋季も中田投手を中心に若手がカバーしたものの2勝5敗3分で5位（早大優勝）。

新応援歌「躍る太陽」が生まれている。

◎昭和12年（1937） 主将：岡泰蔵

<新入部員> 山村吉隆（神戸一中） 中井卓三（関学中）

春季は早大に連敗するなど振るわず、5勝4敗1分で3位（明大優勝）。

秋季も殆んど毎試合を中田一人が投げ通したが、前半の不振がたたって4勝6敗で5位（明大連続優勝）。

新入部員の山村吉隆はアマ球界では有名な山村三兄弟の長兄（2番目の博敏は灘中から早大へ、末弟の泰弘は戦後慶應へ）。昭和9年春の選抜と夏の大会で、投手と内野手として出場した。



山村吉隆

◎昭和13年（1938） 主将：（春）灰山元春

（秋）桜井寅二

<新入部員> ナシ

春季は期待されながら投手陣の不調がたたって、5勝5敗で4位に（明大優勝）。

秋季はチーム一丸で戦ったが、早大に二戦とも惜敗し、6勝3敗1分で2位となった（明大連続優勝）。慶應の花々しい打撃と高木の健投が光った。

（つづく）

会員だより

《古井戸の祟りについて》

森本 周子 (昭25文)

ノーベル賞に価する研究をしたと自負する科学者ですら、配偶者の死に直面すると、近所の人々の「お庭にある古井戸のたたり」という言葉に動かされ私の方迄、電話で打ち明けて来た。今年のトピックスとして考察してみよう。

洋の東西を問わず何故、迷信的なものが存在するのか？ 地球上である災難、病気を含む人間の不幸が生じると、ごく小さな家庭、村落の出来事とはいえ、その原因や責任者を追及する傾向があった。人間が遂に迷路に、行き当たった末、解決が不可能になると、特定の人間を割り出すと、色々悪影響も生じる。それ故、古井戸が悪いと井戸のせいにしたら現在の人間の悩みも軽減し、一応の解決をみるという先人の無意識の知性の働きの結集ではないかと私は考えるに至った。

恐らく、狭い日本の国土に於いて、伝説の調査は行われていると思うが、80歳になっては、その研究をしたくとも、エネルギーがない。

あれこれ思索していると、途端に下からつきあげる地震が起こった。文化の発達した現代人にとって、電気ガスの応急の処置をとらねばならぬ時と考え、ラジオのスイッチをつけた所、奈良が震源地マグニチュード4と報じ、大阪は震度3、西宮は震度2の由、この辺でペンをおく。 2007年11月6日(火)

《12月》

木村 健 (昭57法)

12月生まれの私にとって、少年時代における当月の到来は、一年間で最も楽しみな時期であった。「お誕生日」「クリスマス」そしてその1週間後には「正月」と、いわゆる「プレゼント」をもらえる日が、この時期に集中していたからだ。昨今のように子供たちが、祖父母や両親からすぐにモノを買ってもらえる時代ではなかった。秋が終わり、寒くなっても、12月の到来は夏休み到来より嬉しかった。

学生時代を経て、社会人となった20歳代は「誕生日」や「クリスマス」が別の意味でワクワクする年頃であったが、時は1980年代のバブル景気前夜。

当時、流通業界と一蓮托生のアパレル業界に在籍していた私は、12月は年末商戦で休日も無く馬車馬の如く百貨店の店頭での販売応援に明け暮れ、自身の「誕生日」や「クリスマス」は、置き去りにされようが、売上数字は日々、頭の中へ刻まれていった。ともかく一年間で最も売上構成比が高く、モノが売れる12月であり、少年時代の年間で「最も嬉しい12月」は、「最も多忙な12月」に変わった。

1980年以降、世界経済・日本経済の大きな変遷と、それに伴う流通小売業界の大きな変化は、生活者のライフスタイル・消費行動の大変化をもたらした。消費者の買い物時に於けるクレジットカード払いの恒常化は、12月ボーナス商戦なるイベントを減速化した。また百貨店・量販店は正月元旦や2日から営業開始となり、同時に年中無休のコンビニエンスストアの全国規模展開は、年越しの為の「買いだめ」という消費行動を失わせた。また、正月の福袋大振舞いや、クリアランスセール of 早期開始により、買い物の楽しみも年末から正月へ移行した。

一方で、「クリスマス」「年末年始旅行」に於ける、お値打ちものから豪華なものへの企画提案は、不況時代においても活発であり、生活者の消費はモノに対する消費から行動に対する消費に関心が移るとともに、確実に進行している。

さて、12月は、90年代以降、私が仕事を通じて深くかかわってきた流通小売環境を中心に、一年のうちで、最も変化の大きかった月という印象である。それに伴い、「最も多忙な12月」は薄れた感もあったが、「忘年会」や「得意先・取引先への挨拶」といったケジメを大事にする日本人の行事は健在であり、従って、「やっぱり多忙な12月」ではあるが、こういう慣習は、続けていくべきものであると。

10年後に感ずる12月は何如に。どなた様か、お教え下さいませ。

《イタリア》

矢形 幸之助 (平3法)

行って参りました。チビタノバ！
チビタノバって？ んー、ミラノから国内線でアンコナまで飛び、そこから車で約30分の田舎町、ブーツでいうと、丁度ふくらはぎ付近でしょうか？

イタリアはご存じのとおり革製品で有名ですが、チビタノバの近くにも、有名ブランドの工場があり

同好会だより

(大小合わせて 150 工場ほど) 直接工場へ行くと靴や洋服が安く購入できます。私もスーツ 3 着 (これは無名ブランド) とシューズ 1 足を購入して参りました。しかへし、イタリア旅行の目的は観光でもショッピングでもなく、我が愛する妹の結婚式に参列することになりました。相手の男性は、ミケランジェロ。妹と同じ職場で、世界中を飛び回っていますが、チビタノバ郊外の 600 坪ほどの敷地に、お父さん、お母さんが住んでいます。今回は、イタリアに一時帰国しての結婚式です。

妹は、何度かイタリアの家で過ごしたこともあり、すっかり家族の一員として愛されている姿を見 (我が家にいる姿となんら変わらない)、妹を送り出す兄として安心したことを今でも思い出します (母は、もっと感慨深いものがあったと思います)。

日本のような大勢を招待しての結婚式、披露宴ではありませんでしたが、家族が一丸となって 2 人の門出をお祝いしてあげたいという気持ちが本当に伝わってくる素敵な式でした (もともと、「お兄ちゃんは座ってくれてるだけでいい」そう言われての出発だったはずが、式当日に役割を仰せつかったことには少々焦りましたが)。

イタリアのママとバボ (パパ)、サラ (義姉) とアントニオ (旦那さん) には本当に感謝です。

今、妹夫婦はターコスというところにいます。来年には、休暇の間、2 週間ほど日本に立ち寄る予定です。そのころには、赤ちゃんができたと報告を受けるのでしょうか。楽しみです。

ちよっと一言

高嶋 哲夫 (昭 48 工)

◎『ミッドナイトイーグル』が封切りになりました。

よろしくお祈いします。本のほうも。

◎『ペトロバグ』(文春文庫)発売中。

石油高騰のおり、ぜひお読みください。

ただちに安くなるとは言いませんが。

普段、会の行事に出席できない方も誌面に登場して参加してください。皆さんの投稿をお待ちしています。

堀 友子 tomoko@1968.jukuin.keio.ac.jp

囲碁同好会

○10月28日(日)

「オール早慶囲碁フェスタ」に参加して来ました。今年早稲田大学創立 125 周年ということで、慶早各々 125 人ずつ集めた囲碁対抗戦が早稲田の興風館 (中高の体育館) で行われました。大将は慶應が小森祥嗣、早稲田が三浦浩、共に有名なトップアマという豪華メンバー。日本棋院副理事長で慶應義塾大学 OBOG 会顧問の大竹英雄の大盤解説や美人誉高い早稲田出身の青葉かおりの指導碁 (美人では負けない慶應出身の梅沢由香里は世界大会出場のため残念ながら欠席) やら盛り沢山で素晴らしい大会でありました。1 人 2 局の対戦で小生は 2 敗しましたが、慶応側が 127 対 119 の僅差で勝利をあげました。

来年は慶應義塾が 150 周年にて、慶早 150 人ずつ集めて対抗戦をするということですので皆で揃って参加しようではありませんか!

○11月2日(金) 特別例会

水戸夕香里 3 段女流プロをお招きし、3 面打ち指導碁を打っていただきました。五代、安永、金刺、増井、小林、菊田の 6 人が立ち向かいました中で、小林氏が初チャレンジにも拘らず、臆せず見事勝利の 1 勝をあげました。

《お知らせ》

12 月 22 日 (土) 13:00 から忘年囲碁大会、18:30 から宴会を行います。多数、奮ってご参加下さい!

KKJC

《伊勢志摩ジャズ&ゴルフ・ツアー》

村上 功 (昭 39 工)

10 月 26~28 日の 3 日間、神戸慶應ジャズクラブ主催のツアーにはじめて夫婦で参加した。

26 日午後 4 時前にリゾートホテルの「エクシブ鳥羽」にチェックインし、夕食後のジャズコンサートを待った。

私とジャズとの出会いは大学に入ってからで、最初はジャズというよりもカントリーウエスタンである。必死にコードを覚え Hank・ウィリアムスの好きな友人とクラシックギターをかき鳴らして歌っ

ていたのを覚えている。高校時代まではクラシック音楽しか興味がなかったが、大学に入って必須科目の社交ダンスを覚え、生バンド演奏のダンスパーティーでジャズを聴く機会が増えたころからジャズもいいなと思うようになった。25年前にも米国出張のついでにテネシー州ナッシュビルで開催されるグランドオールオプリ(Grand Ole Opry)を聴きに行ったのを最後にジャズコンサートにはあまり縁がなかった。

洋食のコース料理とワインを楽しんだあと、澤崎至さんの司会で高橋俊男さん(P)、神田芳郎さん(B)、宮哲之さん(TS)、東敏之さん(D)、中田由紀さん(Vo)などの関西の一流のミュージシアンの演奏で大いに盛り上がった。

2日目は参加者のうち約30名が2班に分かれ、ゴルフ組は賢島カントリーへ、観光組は海女小屋体験ツアーへと出発した。

ゴルフ組は、午前中に雨は止むとの天気予報は全く外れて、午後からはすっかり季節外れの水遊びとなった。初日仕事の都合で夜遅く到着した小川理子さん(P&Vo)の父親仕込みのドライバーショットには同じ組の男性軍もいたく感銘した。ウォーターゴルフを楽しんだ後、ホテルに戻りすっかり冷え切った身体を温泉で温め心地ついた。

観光組の家内は海女小屋で伊勢海老コースを食した後、知る人ぞ知る巨大スピーカーで有名なジャズ喫茶「SWING」でジャズを楽しんだ由、えらい違いや！！



和食コースの夕食後、前夜参加できなかった小川理子さん、田中洋一さん(TP)が加わり前夜にも増して華やかな演奏となった。

温泉、ジャズ、ゴルフの3本立てツアーは初めてだったが本当に楽しめた3日間であった。

♪ジャズのお好きな方ご連絡ください。

12月12日、昨年結成されたKKJCメンバーのバンド“ルート66”が更なる研鑽を重ねての忘年会ライブ。この模様は次号でレポートさせていただきます。

ご期待ください♪

家族例会でのデビューも近いことでしょう！

世話人：近藤 正(昭39商)

会員の輪

《メタボ手前の新入社員です》

櫻井 玲央(平19政)

初めまして、平成19年法学部政治学科卒の櫻井玲央と申します。8月に入会したばかりの新参者ですが、よろしくお願いいたします。

学生時代は端艇部カヌー部門で4年間汗を流し、4年次には主将を務めました。4月より野村證券で社会人としてのスタートをきり、すぐに神戸に参りました。



スポーツが大好きなので部活引退後もフットサルやハーフマラソンに取り組みましたが、入社以降運動も出来ず、さらに神戸のご飯がおいしいのでお腹はメタボリックへと向かっております。ある日、鏡を見て「これはマズイ」と思い一念発起、ジムに入会いたしました。これからはゴルフなども始めようと思います。

お腹のお肉つながりの話しですが、先日「大相撲神戸巡業」を観戦してきました。お相撲さんは太っているように見えてほとんど筋肉なのですね、初めて見に行ったのですが迫力があり感動しました。

実はその前日に行きつけの居酒屋に相撲取りが入ってきて仲良くなり、口を利いてくれるとのことなので観戦にいったのです。人のつながりとは大きいものだと感じました。高校から慶應におりますので慶應のつながりがとても強いことは肌で感じておりますが、これからもそのつながりを大切にしたいと思っております。

神戸に来てまだ半年で何もわからない状態でございます。これからできるだけ会に参加し、手となり足となり働こうと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

神戸に来てまだ半年で何もわからない状態でございます。これからできるだけ会に参加し、手となり足となり働こうと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。





～クリスマス家族例会のお知らせ～

日時：12月8日（土）午後6時30分より

（受付は6時より）

場所：神戸ポートピアホテル

本館地下1F「布引・北野の間」

☆ジャズライブ&オークション☆

出演：ジャネット・カワスージー、福井 有

岩崎恵子、村松泰治、田中ヒロシ

オークション司会：浦上忠文会員&同夫人

出欠の締め切りは、11月30日（金）でしたが、参加ご希望の方、申込をお忘れの方のために、12月4日（火）まで延長受付いたします。スケジュール調整のうえ、お誘い合わせご参加ください。

《今月の絵》



前田 剛資（昭39工）

～福澤諭吉先生誕生記念祝賀会のご案内～

日時：平成20年1月10日（木）18：30

会場：リーガロイヤルホテル 2階「山楽の間」

参加希望の方は、別紙参照のうえ、大阪慶應倶楽部にお申込ください。



慶應義塾創立150年記念事業募金について

引続き募集を行っておりますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

～～事務局よりお願い～～

◎例会等にご出席の会員様はお食事等の準備の都合がありますので、必ず事前に事務局までお申し込みをお願いします。なお、当日のキャンセルにつきましては会費全額を頂きますのでご了承ください。

◎住所、電話番号、メールアドレス等の変更がある場合は、必ず事務局にお知らせください。

◎本年度会費未納の方は、年内にお振込みをお願いします。（振込用紙が同封されている会員様です。）

◎12月29日（土）～1月6日（日）事務局はお休みさせていただきます。

編集後記

○あつという間に年末になってしまいました。年頭に「今年はこんなことを…」果たせたのだろうか、課題のまま持ち越す「継続こそ力なり」と自分勝手に合点してしまいます。ゴールにはいつまでも届きません。届いたら怖いかも…。

○この会報誌も新風が欲しいところ、どなたかお手伝いください、もっと充実したものが創れると思うのですが…。お手を挙げてください。

（ほ）